Panasonic

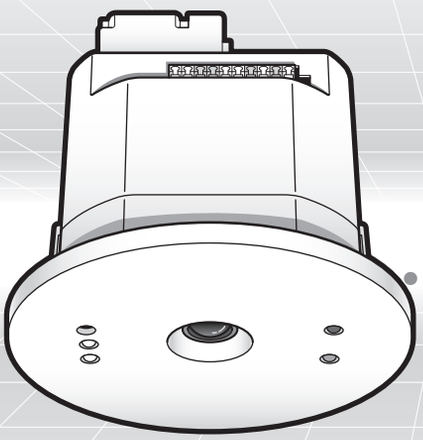
取扱説明書

総　合　編

照明制御コントローラ
セパレートi-セルコン

画像センサ・個別ひと制御・連続調光(i タイプ)

品番 **FSK90740**



リモコン
(FSK90941U)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

安全上のご注意‥‥‥

はじめに

安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意　「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁　止　分解禁止　してはいけない内容です。

必ず守る　実行しなければならない内容です。

⚠警告

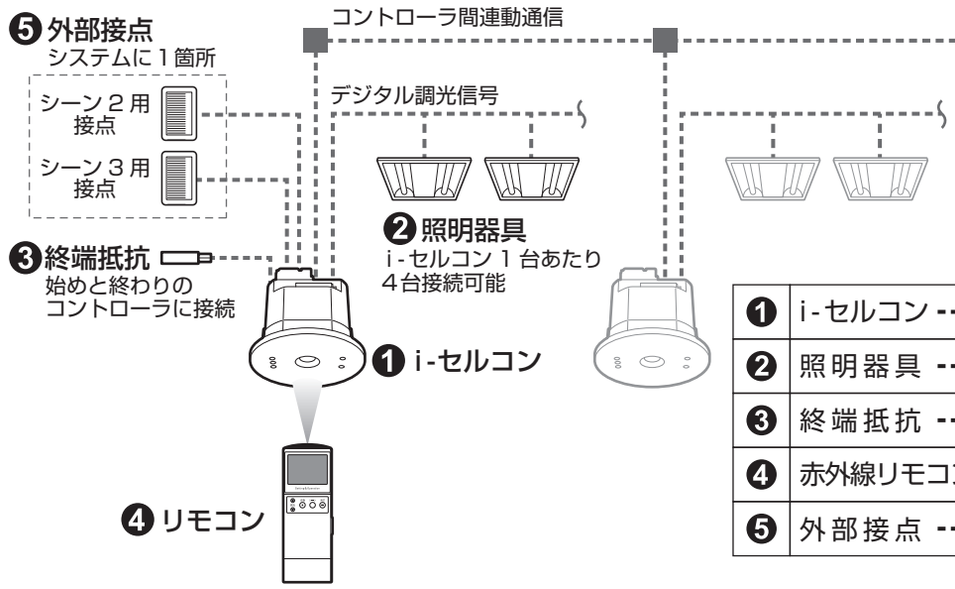
分解禁止	■ 絶対に分解したり修理・改造は行わない 感電や故障の原因となります。
必ず守る	■ 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が生じた場合は、すぐに電源を切る そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。ただちに、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

⚠注意

	コントローラについて
禁　止	■ 直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない 落下・感電・火災 の原因となります。
必ず守る	■ 周囲温度 5℃～ 35℃で使用する 指定外周囲温度での使用は短寿命の原因となります。 ■ お手入れの際は、必ず電源を切る 感電ややけどのおそれがあります。
	リモコンについて
禁　止	■ 落としたり、水をかけたりしない 故障や破損の原因となります。 ■ 乾電池をショートさせたり、火中に投入しない 発熱・破裂によるけがの原因となります。 ■ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたり指定以外の乾電池を使用しない ■ 乾電池の極性（プラス（＋）とマイナス（－））を逆に入れない 乾電池の破損、液漏れにより火災・けがや周囲を汚損するおそれがあります。
必ず守る	■ リモコンを長時間使用しない場合や乾電池を使い切ったときは、乾電池をリモコンから取り出す 長時間放置すると、乾電池が液漏れを起こす場合があります。 万一、液漏れしたときは・・・ ・液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。 ・目に入ったときは、失明のおそれがあります。 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

i-セルコンのシステム構成図

■ 本システムは、❶～❹で構成され、❺などの外部接点との組み合わせにより、システムを拡張することも可能です。



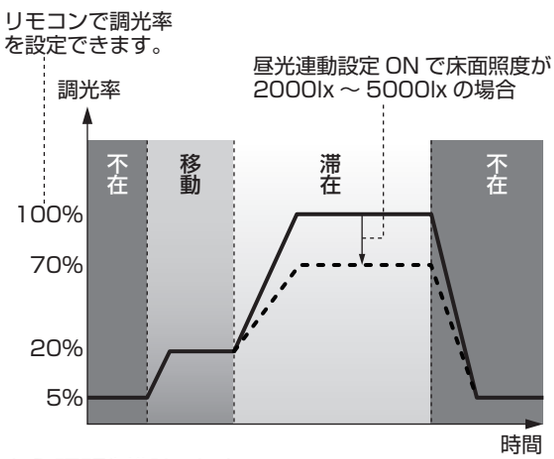
❶	i-セルコン ------- 本商品
❷	照明器具 ------- デジタル調光用照明器具(別売)
❸	終端抵抗 ------- FSK91099(別売２個セット)
❹	赤外線リモコン----FSK90941U(別売)
❺	外部接点 ------- 無電圧ａ接点(別売)

i-セルコンで可能な照明制御の種類

■ 初期設定完了後に、以下の制御方式を選択して動作させることができます。

※初回電源投入時は、照明器具は 100% 点灯し、初期設定以外の動作を受け付けません。（P5 ～ 6 の「初期設定」を参照）

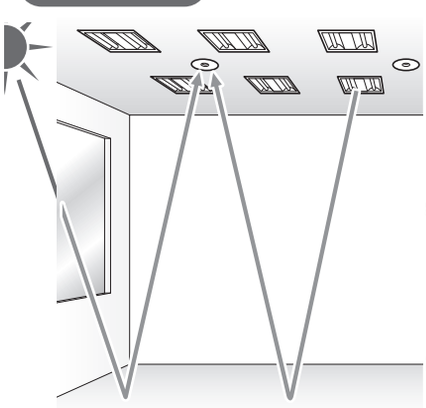
個別ひと制御 **個別ひと制御 + 昼光連動制御**



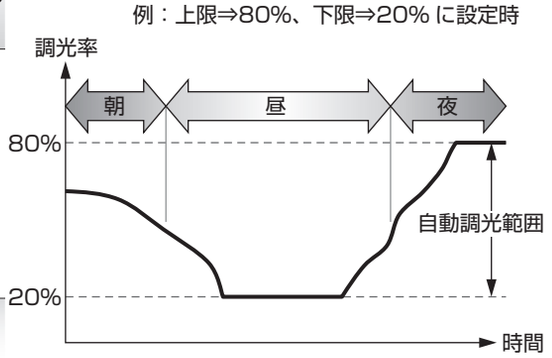
ひとの滞在・移動・不在を検知して、照明器具が個別で調光動作するよう照明制御します。
各検知状態の調光率と点灯保持時間をリモコンから設定できます。(P9 参照)
また、昼光連動制御を ON に設定すると、コントローラの検知範囲の床面照度が 2000lx ～ 5000lx 程度になると滞在検知時の調光率を 70% にするよう照明制御します。

※昼光連動制御の設定方法の詳細は総合編 P18 ～ 19 参照

明るさ制御



●上限・下限調光率：自動調光範囲の上限・下限値
例：上限⇒80%、下限⇒20% に設定時



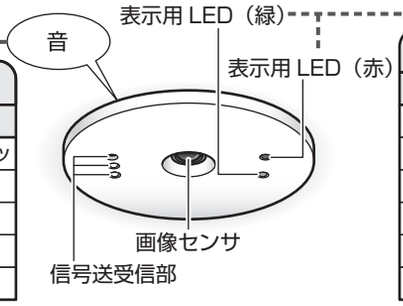
外光や照明の反射光を検知して、設定した明るさを一定に保つよう照明制御します。
施工完了後、夜間に什器を搬入した状態で必ず P10 の「明るさ設定」を行ってください。

強制調光制御

設定した調光率を継続するよう照明制御します。
リモコンで強制調光制御させる調光率を設定できます。(P10 参照)

コントローラの仕様

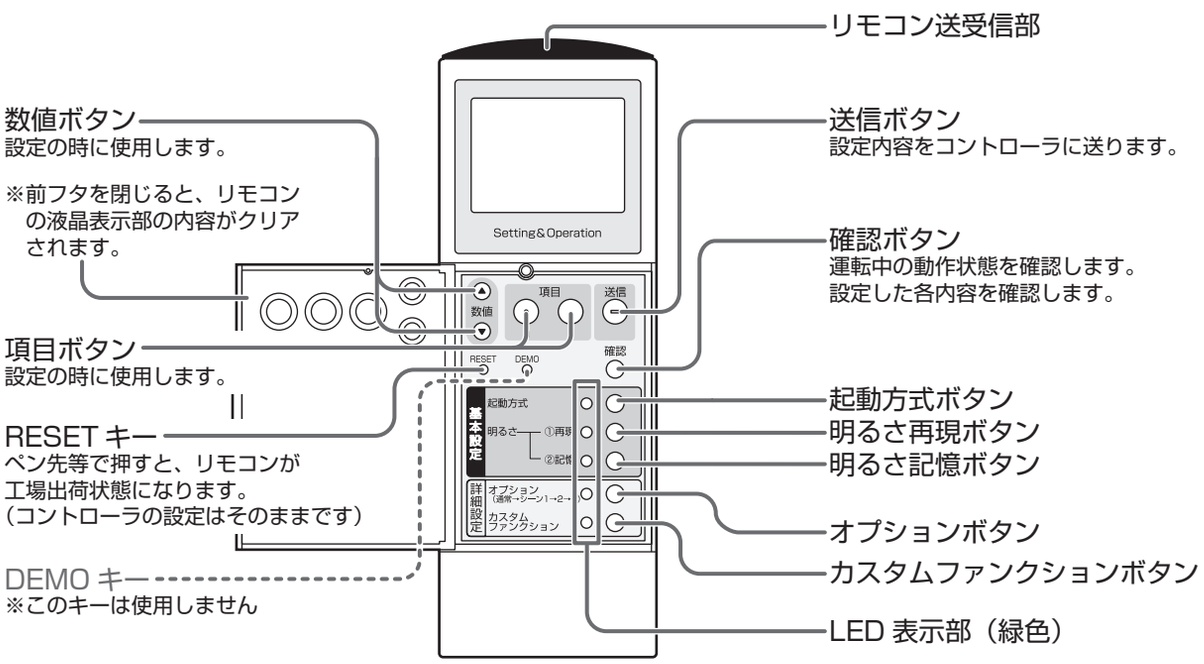
鳴動パターンと仕様	
イベント	音
リモコン操作信号受信時	ピッ / ピッピッ
リモコン確認信号受信時	ピー
リモコン設定信号設定完了時	ピピー
無効操作時	ピピピピッ
上限 / 下限点灯時の UP/DOWN 操作	ピピッ



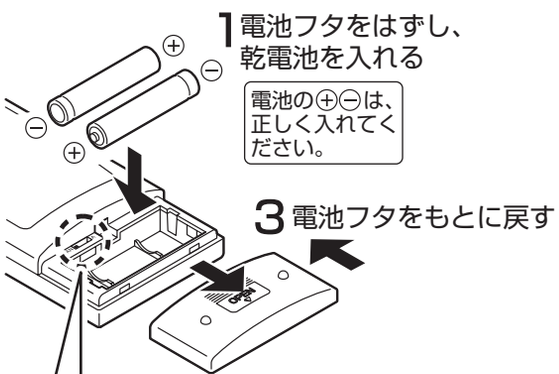
点灯パターンと仕様		
モード	LED 緑	LED 赤
電源投入時特殊モード	同時点滅	
通常運転中	消灯	消灯
シーン運転中	点灯	消灯
マニュアル調光中	点滅	消灯
設定中	同時点滅	
工場出荷状態 / エラーモード	消灯	点灯

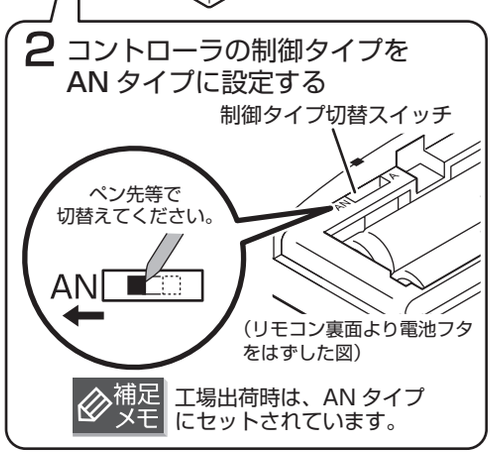
設定に使用するリモコン

■ 専用リモコン（FSK90941U 別売）で設定を行います。

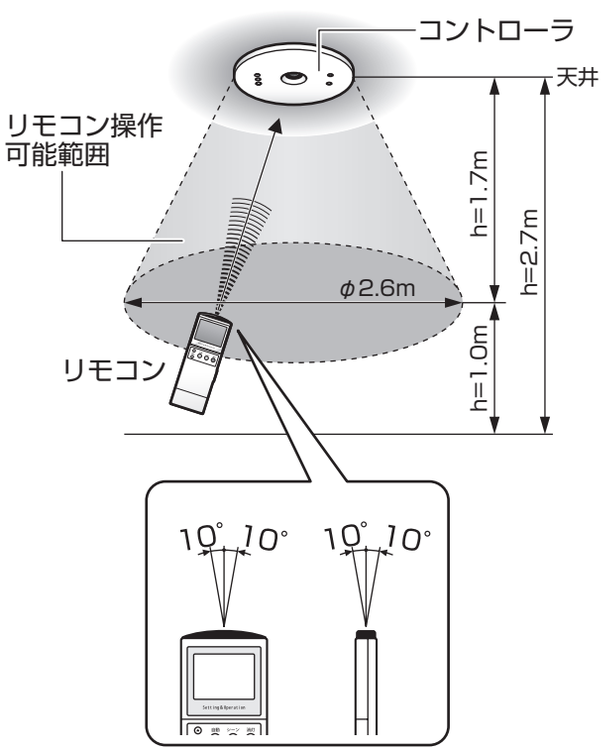


■ リモコンに電池を入れ、以下の設定を行ってください。





■ リモコンは操作可能範囲内で、リモコン送受信部をコントローラに向けて操作してください。



設定方法

施工からご使用までの設定手順

配線工事受電確認 完了	初期設定 (P5・P6)	初期設定完了確認 (P7)	施工完了確認 (P7)	施工完了	
全ての照明器具が100%点灯し、コントローラの赤 LED が点灯していることを確認してください。 ※上記の状態にならない場合は、電源配線を見直してください。	①結線確認 ⬇ ②天井高さ設定 ⬇ ③自動初期設定	赤・緑 LED の状態を確認 してください。	リモコンでシーンを切替えて動作を確認し てください。		シーン設定 (P9・P10) 明るさ設定 (P10)

初期設定（任意のコントローラ 1 台にのみ設定を行ってください）

■ 初期設定は以下の手順で行います。

①結線確認、②天井高さ設定、③自動初期設定は任意のコントローラ 1 台にのみ設定してください。
他のコントローラも連動して初期設定が行われます。

※異なる複数台のコントローラに初期設定を行うとエラーとなります。
※初期設定を行う前に初期設定時の注意事項をよく読み設定を開始してください。

① 結線確認 → ② 天井高さ設定 → ③ 自動初期設定

初期設定時の注意事項

・①結線確認～③自動初期設定は続けて行ってください。配線工事をやり直す場合など初期設定の途中で電源を切った場合は、全てのコントローラを工場出荷状態に設定し（P11 の「工場出荷状態へ戻す設定」を参照）、もう一度①結線確認から行ってください。
・夜間など、外光の影響の少ない状態で設定してください。
・コントローラに接続されていない他の照明器具がある場合は、その照明器具を消灯させてください。
・什器はできるだけ取り除いてください。
・初期設定の操作を行ったコントローラは覚えておいてください。このコントローラの赤・緑 LED の状態で初期設定が完了したかどうかを確認できます。（P7 の「初期設定完了の確認方法」を参照）

① 結線確認 ※任意のコントローラ 1 台にのみ以下のリモコン操作を行ってください。

リモコン操作❸を行うと、<u>全ての照明器具が約 20 秒後に消灯し、手元が暗く</u>なりますので、<u>リモコンのフタを閉じずに</u>リモコン操作❹を行い照明器具を点灯させてください。
（フタを閉じると❶からリモコン操作する必要があり、手元が暗い状態ではリモコン操作が困難になる場合があります。）

リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「34」を選択

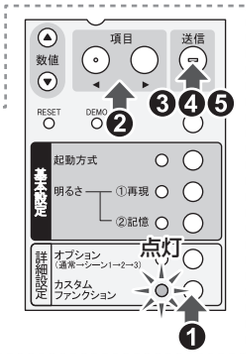
※フタを閉じずに❸～❺を行ってください。

❸リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押し、20 秒後全ての照明器具が消灯することを確認する。

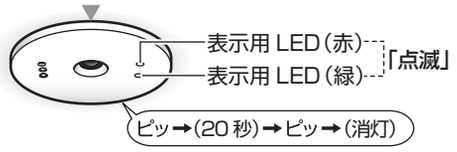
❹項目番号が「34」の状態でもう一度「送信」ボタンを押し全ての照明器具を点灯させる。

❺項目番号「34」の状態で「送信」ボタンを押すたびに、全ての照明器具が点灯・消灯することを確認したら、点灯状態にして結線確認を完了する。

リモコン画面

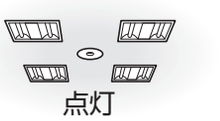


「送信」

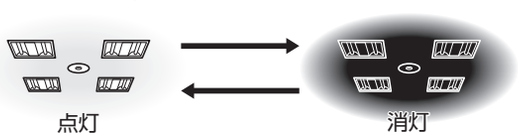


コントローラが「ピッ」と鳴り赤・緑 LED が点滅します。
さらに 20 秒後、「ピッ」と鳴り全照明器具が消灯します。

コントローラが「ピッピッ」と鳴り全ての照明器具が点灯します。



コントローラが「ピッピッ」と鳴り、全照明器具が点灯・消灯します。点灯・消灯しない場合、施工説明書を参考に配線を正しく接続し直してください。



② 天井高さ設定 ※結線確認を行った同じコントローラ 1 台にのみ以下のリモコン操作を行ってください。

結線確認で照明器具を点灯状態にしたまま、天井の高さを 2.7 ～ 3.3m の範囲で設定してください。
※結線確認の消灯状態では動作しません。

リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す
※緑点灯している場合は操作不要

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「40」を選択

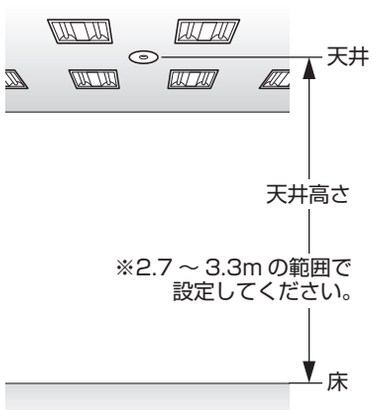
❸「数値」ボタンで天井高さを選択

❹リモコンを①結線確認を行ったコントローラに向け「送信」ボタンを押す

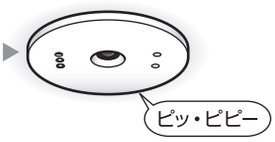
※天井の高さを間違って設定した場合は、❸～❹の操作を行い再度設定してください。

※0 ～ 2 は設定できません。

表示画面値	天井高さ (m)
3	2.7
4	2.8
5	2.9
6	3.0
7	3.1
8	3.2
9	3.3



「送信」



「送信」ボタンを押した直後コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴り、天井高さが設定されます。
「ピピピピッ」となる場合は、結線確認で照明器具を点灯状態にし、天井高さ設定を行ってください。

天井高さ設定時の注意事項

・実際とは異なる天井高さを設定すると、検知しないエリアができたり、個別ひと制御中の照明器具の点灯台数が多くなったり少なくなったりします。
・③ 自動初期設定 が終了した後に天井高さ設定を変更する場合は、全てのコントローラを工場出荷状態に設定 (P11 参照)し、再度初期設定から行う必要があります。

③ 自動初期設定 ※結線確認を行った同じコントローラ 1 台にのみ以下のリモコン操作を行ってください。

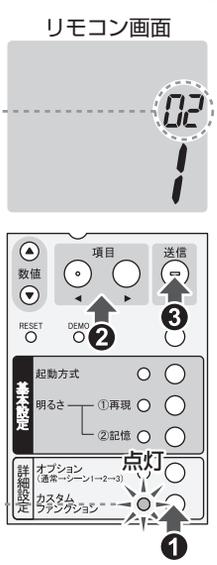
コントローラの自動初期設定を開始します。設定完了までは器具の台数などにより、非常に時間がかかることがあります。
操作を行う前に P5 の「初期設定時の注意事項」をよくご確認ください。
※初期設定中は不規則に照明器具が明るくなったり、暗くなったりを繰り返し、音が鳴りますがエラーではありません。

リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す
※緑点灯している場合は操作不要

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「02」を選択

❸リモコンを①結線確認を行ったコントローラに向け「送信」ボタンを押す



設定時間の目安

コントローラ接続総数	照明器具接続総数	所要時間目安
10 台	40 台	15 分
50 台	200 台	50 分
100 台	400 台	90 分

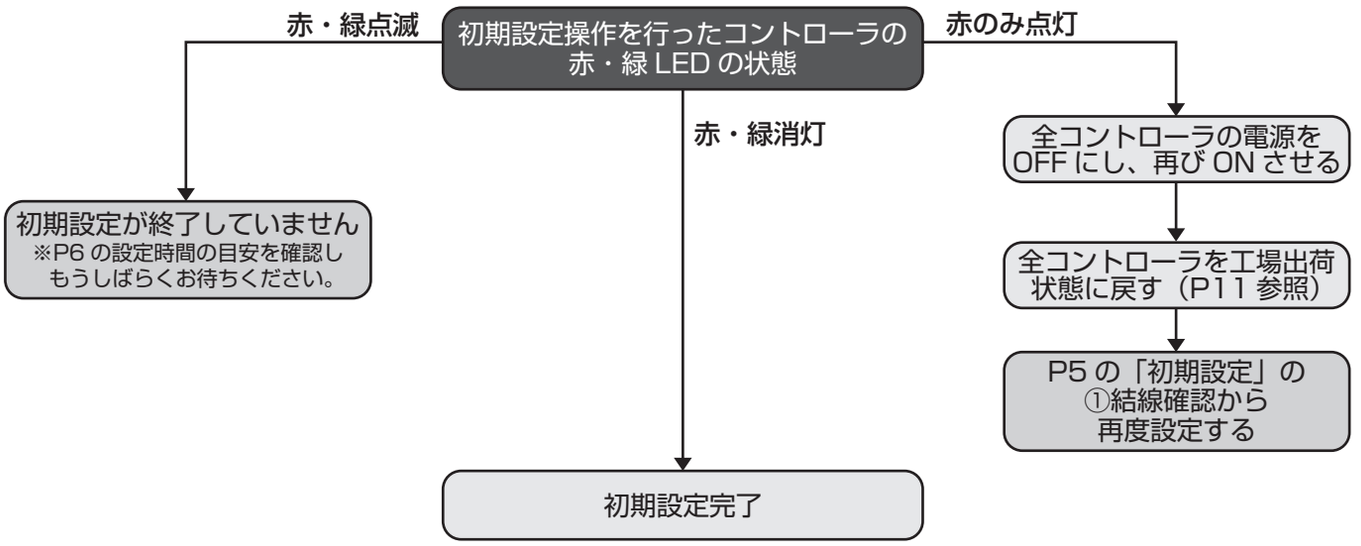
「送信」

「送信」ボタンを押した直後コントローラが「ピッピッ」と鳴り、自動初期設定を開始します。

※リモコンで初期設定の操作を行ったコントローラの赤・緑 LED は設定が完了するまで点滅を継続します。
（初期設定完了の確認方法は P7 参照）
※それ以外のコントローラの赤・緑 LED は不規則に点滅しますがエラーではありません。
※自動初期設定中は、全てのコントローラの検知範囲内にできるだけ入らないでください。
※自動初期設定が終了したかどうかは P7 の「初期設定完了の確認方法」をご参照ください。

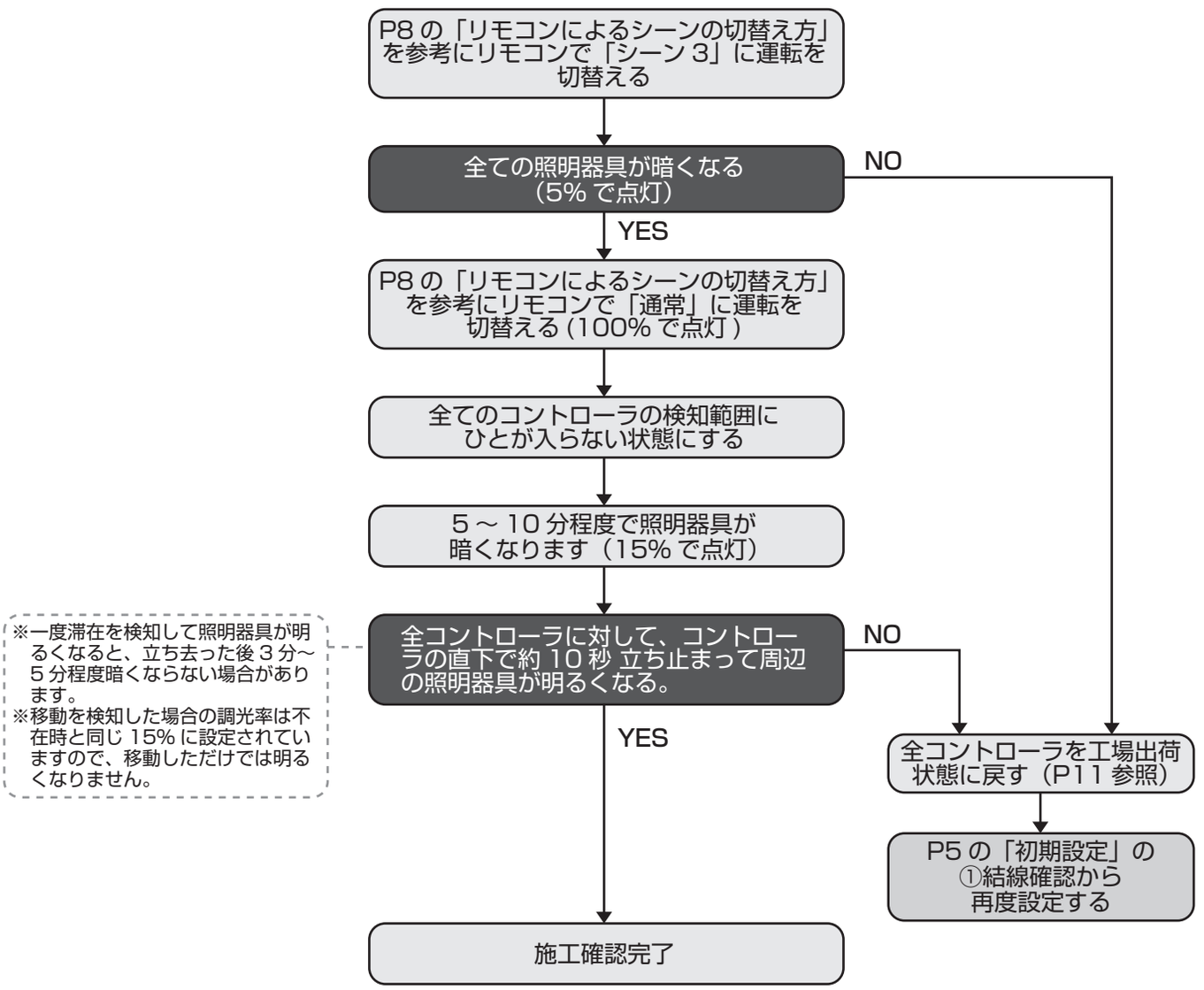
初期設定完了の確認方法

■ P6 の③自動初期設定を行い、初期設定が完了したかどうかは以下の手順で確認してください。



施工完了の確認方法

■ 初期設定完了後、以下の手順を行い施工が正しく完了していることを確認してください。



リモコンによるシーン切替え方

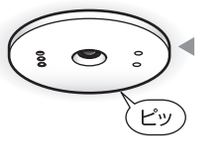
■ シーンを切替える場合や、マニュアル調光・消灯させる場合は以下のリモコン操作を行ってください。

※通常またはシーンへ運転を切替えた場合、全てのコントローラの運転が切替わります。
（一部のコントローラのみ運転を切替えたい場合は、総合編 P12 のグループ設定を参照してください。）

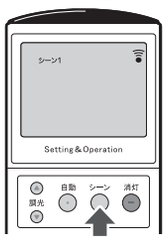
※マニュアル調光または消灯を行った場合は、リモコン操作したコントローラのみマニュアル調光・消灯で運転します。

● 通常運転させる

コントローラに向け
「自動」ボタンを押す
設定された内容に従い、通常運転します。



● シーン運転させる

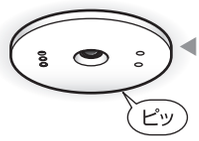


コントローラに向け
「シーン」ボタンを押す
設定された内容に従い、シーン運転します。
※「シーン」ボタンを素早く連続して押すと「シーン 1」→「シーン 2」→「シーン 3」とリモコンの表示画面が変わります。リモコンをコントローラに向けたまま表示画面を運転したいシーンにすると、シーンを切替えることができます。

切替えるシーン	「シーン」ボタンの操作
シーン 1	1 回押す
シーン 2	素早く 2 回連続して押す
シーン 3	素早く 3 回連続して押す

● 消灯する

コントローラに向け
「消灯」ボタンを押す
通常・シーン運転を中断し、消灯します。



● マニュアル調光する

コントローラに向け
「調光」ボタンを押す
通常・シーン運転を中断し、ボタンを押す毎に現在点灯している調光率から 1%UP/DOWN します。
調光範囲は 5% ～ 100% で、5% または 100% になると「ピピッ」と音が鳴ります。
※調光率を指定してマニュアル調光させたい場合は総合編 P26 を参照してください。
※「調光」ボタンを長押しした場合、調光が遅れますが、不具合ではありません。

・初期設定完了後の通常・各シーンの制御方式と制御内容は、右図のように設定されています。シーンを切替えることで、制御方式と制御内容を変えることができます。

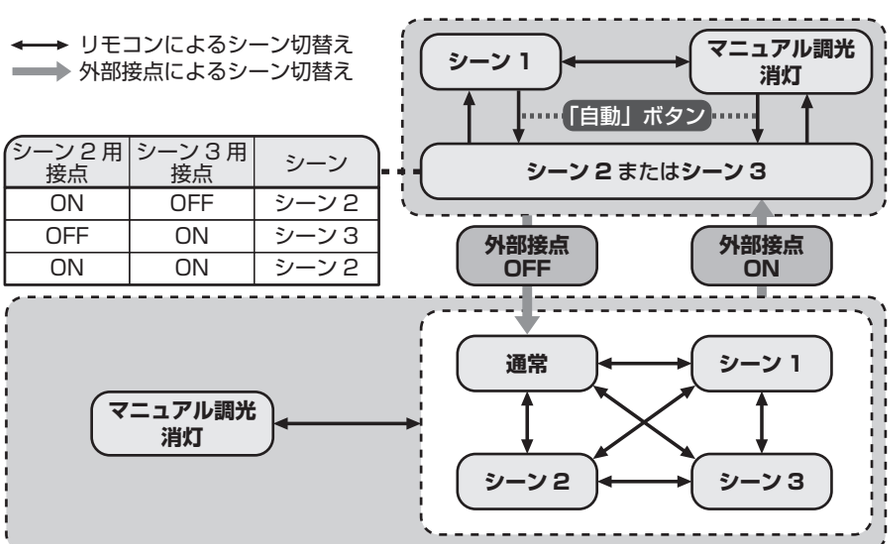
・各シーンの制御方式や制御内容を変更する場合は、P9･P10 の「シーン設定」を参考に変更してください。

※制御方式（個別ひと制御・明るさ制御・強制調光制御）の詳細は P3 の「i- セルコンで可能な照明制御の種類」をご覧ください。

	通常	シーン 1	シーン 2	シーン 3
制御方式	**個別ひと制御** 明るさ制御 強制調光制御	**個別ひと制御** 明るさ制御 強制調光制御	個別ひと制御 **明るさ制御** 強制調光制御	個別ひと制御 明るさ制御 **強制調光制御**
制御内容	ひと滞在時調光率 100% ひと移動時調光率 15% ひと不在時調光率 15% 昼光連動機能 OFF	ひと滞在時調光率 100% ひと移動時調光率 15% ひと不在時調光率 15% 昼光連動機能 ON	明るさ上限調光率 100% 明るさ下限調光率 5% 非常に明るい条件を基準値設定	強制調光率 5%

リモコンと外部接点によるシーン切替え

■ シーンはリモコンまたは外部接点（シーン 2 用接点、シーン 3 用接点）で切替えることができます。
シーンの遷移は以下のようになります。



シーン 2 用接点	シーン 3 用接点	シーン
ON	OFF	シーン 2
OFF	ON	シーン 3
ON	ON	シーン 2

●各設定切替えイメージ

- 外部接点が ON の時、「マニュアル調光･消灯」または「シーン 1」へリモコンで切替えることができます。
- 外部接点が ON の状態で「マニュアル調光・消灯」または「シーン 1」で運転中に「自動」ボタンを押すと元の状態（シーン 2 またはシーン 3）になります。
- コントローラの電源を再投入すると、外部接点が OFF の場合、通常から運転を開始し、外部接点が ON の場合、シーン 2 またはシーン 3 から運転を開始します。

シーン切替え時の注意事項

外部接点が ON の状態でシーン 2 またはシーン 3 が運転中はリモコンによる「通常」「シーン 2」「シーン 3」への切替えはできません。

シーン設定

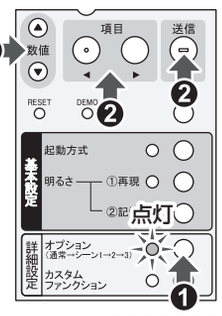
■ シーンは施工完了後、いつでも設定変更が可能です。
リモコンの「オプション」ボタンで通常、シーン 1 ～シーン 3 の動作をお好みの制御（個別ひと制御、明るさ制御、強制調光制御のいずれか）に設定できます。

●以下のリモコン操作を参考に設定してください。

リモコン操作

❶「オプション」ボタンを押して設定したいシーンを選択

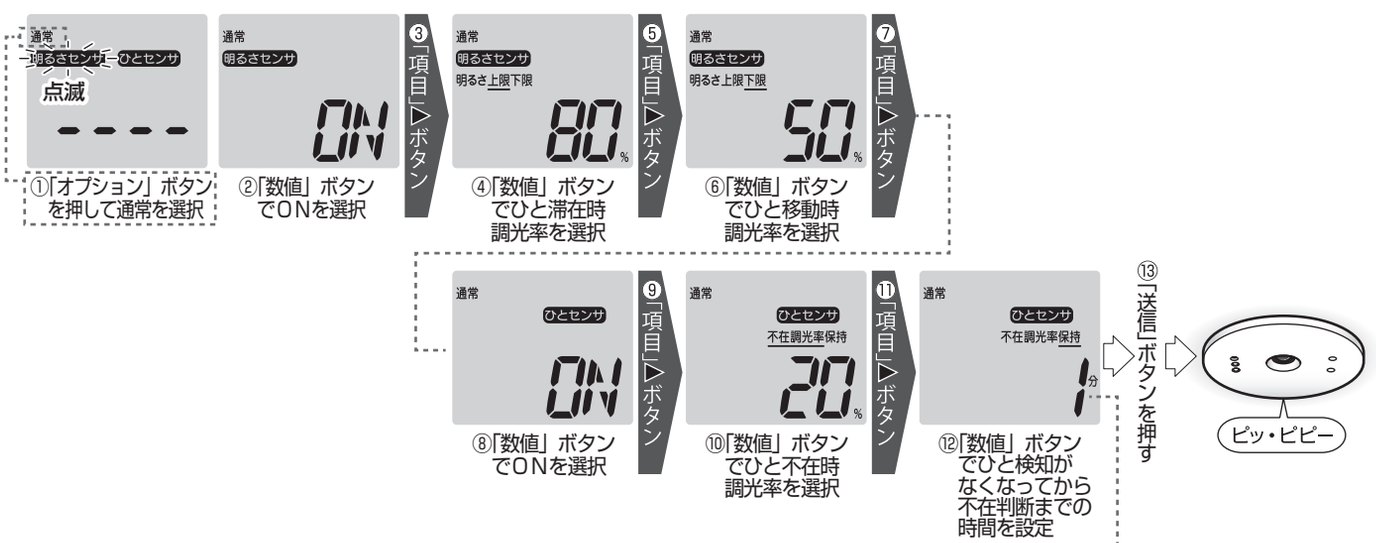
❷P9 または P10 を参考に設定したい制御内容を「項目」「数値」ボタンで入力し、全ての項目を入力したらリモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す
※「送信」ボタンを押して、2 秒間リモコンをコントローラに向けたままにしてください。



シーン設定時の注意事項

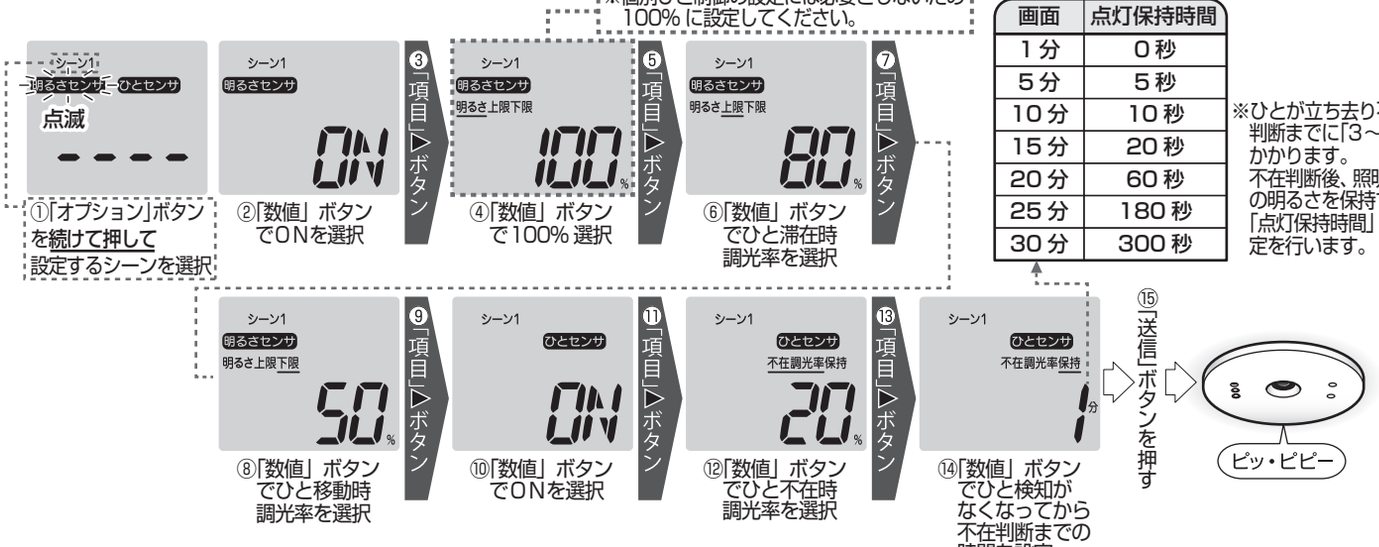
・シーン設定をする際は、P9 ～ 10 に記載の設定方法に従って設定してください。
最後の手順まで入力せずに途中で「送信」ボタンを押すと「ピピピピッ」とエラー音が鳴り設定できません。
〈例〉通常を「個別ひと制御」に設定する場合、手順①～手順⑪の途中まで入力して「送信」ボタンを押しても設定できません。
手順⑫まで入力し、最後の手順⑬で「送信」ボタンを押してください。
・個別ひと制御で、滞在・移動・不在調光率に 0% は設定できません。
・明るさ制御で、上限値・下限値に 0% は設定できません。

通常を「個別ひと制御」にする場合の設定方法（①～⑬の手順）



シーン1・2・3を「個別ひと制御」にする場合の設定方法（①～⑮の手順）

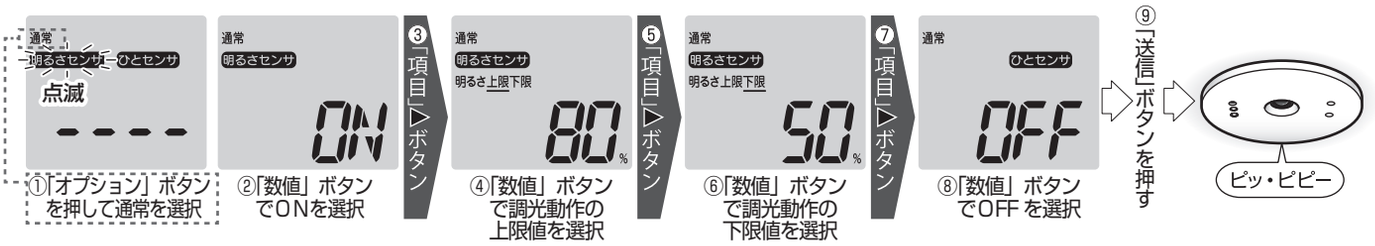
※個別ひと制御の設定には必要としないため100% に設定してください。



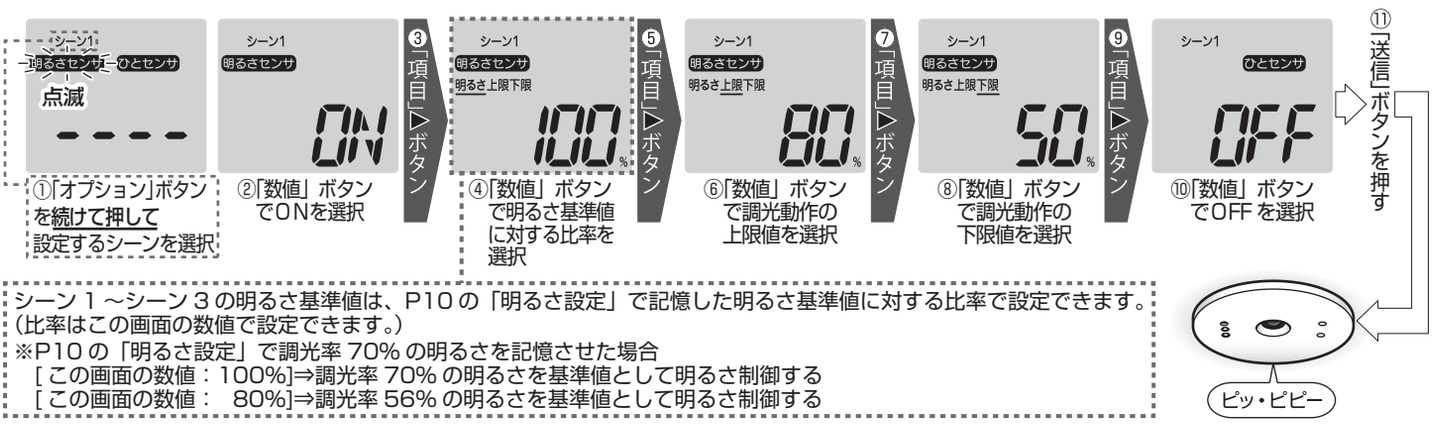
画面	点灯保持時間
1 分	0 秒
5 分	5 秒
10 分	10 秒
15 分	20 秒
20 分	60 秒
25 分	180 秒
30 分	300 秒

※ひとが立ち去り不在判断までに「3～5分」かかります。
不在判断後、照明器具の明るさを保持する「点灯保持時間」の設定を行います。

通常を「明るさ制御」にする場合の設定方法（①～⑨の手順）



シーン１・２・３を「明るさ制御」にする場合の設定方法（①～⑪の手順）

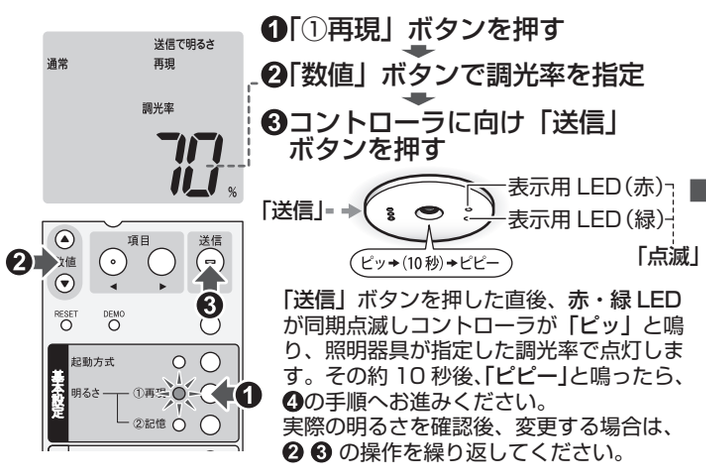


シーン１～シーン３の明るさ基準値は、P10の「明るさ設定」で記憶した明るさ基準値に対する比率で設定できます。
(比率はこの画面の数値で設定できます。)
※P10の「明るさ設定」で調光率70%の明るさを記憶させた場合
[この画面の数値：100%]⇒調光率70%の明るさを基準値として明るさ制御する
[この画面の数値：　80%]⇒調光率56%の明るさを基準値として明るさ制御する

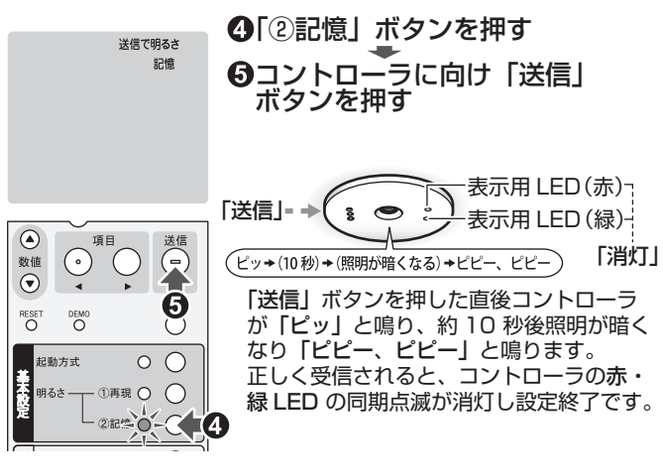
通常・シーン１・２・３を「強制調光制御」にする場合の設定方法（①～⑦の手順）

明るさ設定

■ 明るさ制御の明るさ基準値の設定手順で、基準とする明るさを再現して記憶させる設定方法です。
基準とする明るさは調光率で指定して、その明るさを再現することができます。以下のリモコン操作で設定してください。



「送信」ボタンを押した直後、赤・緑 LED が同期点滅しコントローラが「ピッ」と鳴り、照明器具が指定した調光率で点灯します。その約 10 秒後、「ピピー」と鳴ったら、❹の手順へお進みください。
実際の明るさを確認後、変更する場合は、❷ ❸ の操作を繰り返してください。



「送信」ボタンを押した直後コントローラが「ピッ」と鳴り、約 10 秒後照明が暗くなり「ピピー、ピピー」と鳴ります。
正しく受信されると、コントローラの赤・緑 LED の同期点滅が消灯し設定終了です。

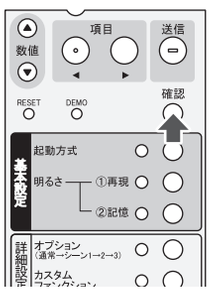
明るさ設定時の注意事項

・夜間など、外光の影響のない状態で設定してください。
・使用状態と同一の反射環境とするため、すべての什器を設置後、設定を行ってください。
・コントローラに接続されていない他の照明器具は、使用時と同じ状態で設定を行ってください。
・明るさ設定する場合は、外部接点を OFF の状態にしてください。

現在の状態の確認

■ コントローラ単体の今の状態を確認できます。

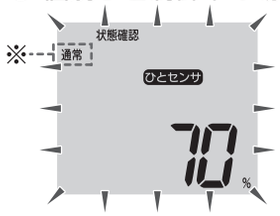
※ 通常運転中は「通常」、シーン運転中は「シーン 1」「シーン 2」「シーン 3」のいずれかが表示されます。



コントローラの直下で「確認」ボタンを押す

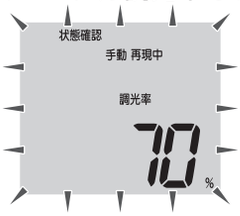
※リモコン画面が点滅しコントローラの状態が表示されます。

● 個別ひと制御中の場合



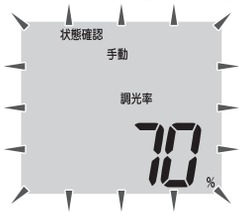
確認したコントローラが制御している複数の照明器具の中で最も高い調光率を返信します。

● マニュアル調光中の場合



確認したコントローラが制御している照明器具の調光率を返信します。

● 明るさ設定中の場合



確認したコントローラが制御している照明器具の調光率を返信します。

● 明るさ制御中の場合

確認したコントローラが制御している照明器具の調光率を返信します。

● 強制調光制御中の場合

確認したコントローラが制御している照明器具の調光率を返信します。

● コントローラから返信をうまく受信できなかった場合

リモコンの操作方向・範囲を確認のうえ、再度コントローラに向け「確認」ボタンを押してください。

工場出荷状態へ戻す設定

■ 工場出荷状態に戻す場合は、全てのコントローラに対して以下のリモコン操作を行ってください。

リモコン操作

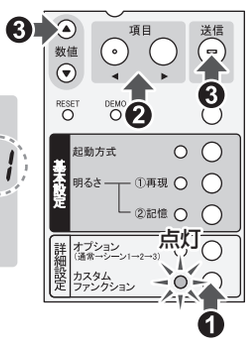
❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「41」を選択

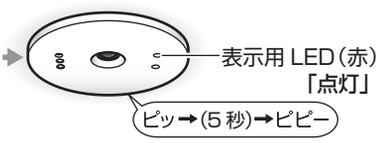
❸「数値」ボタンの上矢印を押しながら「送信」ボタンを押す

※「ピピピピッ」とエラー音が鳴る場合は電源を ON/OFF してください。

リモコン画面



「送信」



「送信」ボタンを押した直後コントローラが「ピッ」と鳴り、約 5 秒後「ピピー」と鳴り照明器具が 100% 点灯します。また、赤 LED が点灯します。

その他の設定

グループ設定

■ コントローラを複数のグループに分ける場合の設定です。

コントローラを複数のグループに分けて、それぞれのグループで別のシーンや別の制御で運転させたい場合などに、グループ番号を設定してください。工場出荷時はグループ番号は000に設定されており、グループを分ける場合は、001 ～ 100 の範囲で 1 台ずつ設定してください。

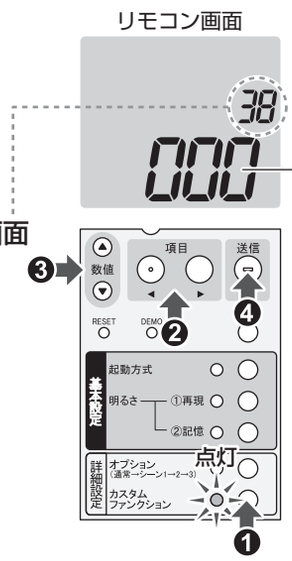
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「38」を選択

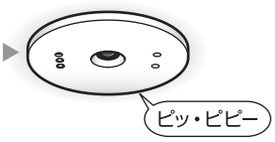
❸「数値」ボタンでグループ番号を選択

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「000」～「100」の範囲で一台ずつ設定

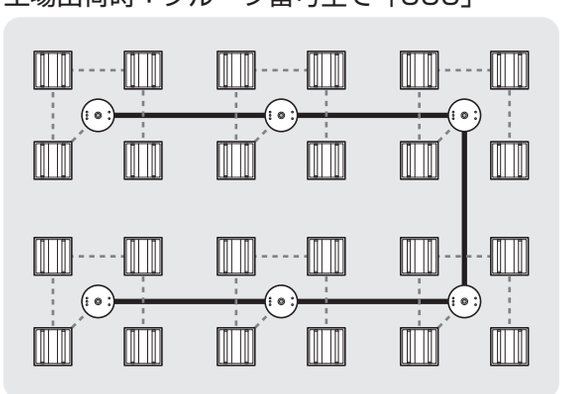
「送信」



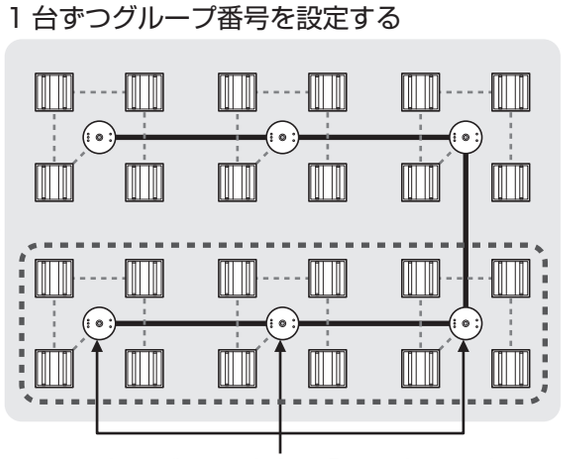
「送信」ボタンを押した直後、「ピッ、ピピー」とコントローラが鳴ります。

● 設定例

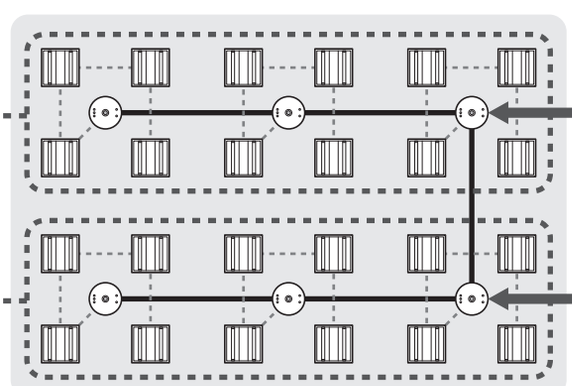
工場出荷時：グループ番号全て「000」



グループ分けしたいコントローラに
1 台ずつグループ番号を設定する



この３台にグループ番号「001」を設定
※未設定の３台は、「000」のまま。



グループ番号「000」

グループ番号「001」

通常運転
個別ひと制御
設定

通常運転
明るさ制御
設定

※シーン設定はグループごとに設定することができます。
※グループ内のコントローラ１台に設定すると、グループ内の全てのコントローラに同じシーンが設定されます。

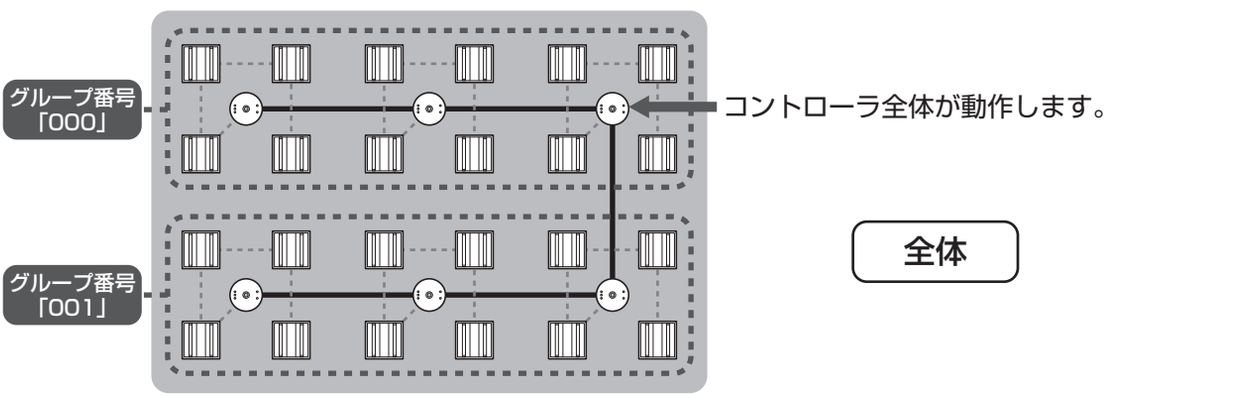
■ シーン切替えや各種設定を行う場合、「全体」、「グループ」、「個別」、いずれかの範囲で動作します。それぞれの範囲での動作は以下の図のようになります。

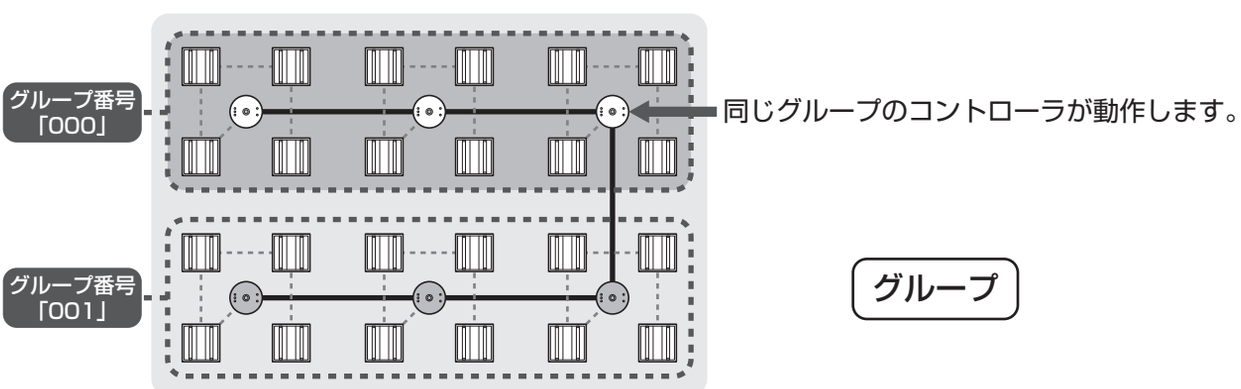
シーン切替えでの動作範囲

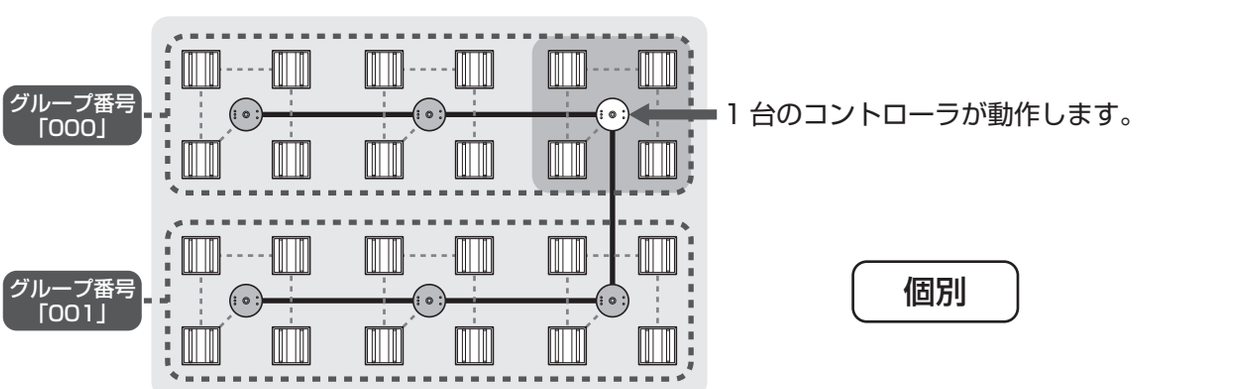
シーン切替え方法	内容	範囲
リモコン	通常	グループ
	シーン 1	グループ
	シーン 2	グループ
	シーン 3	グループ
	マニュアル調光	個別
外部接点	シーン 2	全体
	シーン 3	全体

各種設定での動作範囲

設定名	範囲
初期設定	全体
シーン設定	グループ
明るさ設定	グループ
Feu アップ設定	グループ
昼光連動制御設定	グループ
フェード時間設定	グループ
初期照度補正設定	グループ
グループ設定	個別
ひと検知強制解除	個別
初期滞在検知設定	個別
ひと検知感度設定	個別
点灯範囲設定	個別
調光率を指定したマニュアル調光	個別







明るさ設定（照度計を用いた設定）

■ 明るさ設定を照度計を用いて行う場合の設定です。

明るさ制御の明るさ基準値を照度計を用いて設定する手順です。基本編で行う明るさ設定と手順は異なりますが、設定する内容は同じで、どちらかの手順で明るさ基準値を設定してください。

明るさ設定時の注意事項

・夜間など、外光の影響のない状態で設定してください。
・使用状態と同一の反射環境とするため、すべての什器を設置後、設定を行ってください。
・コントローラに接続されていない他の照明器具は、使用時と同じ状態で設定を行ってください。
・明るさ設定する場合は、外部接点を OFF の状態にしてください。

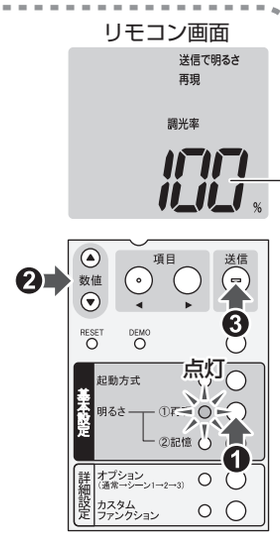
① 照明器具を 100% 点灯させる

リモコン操作

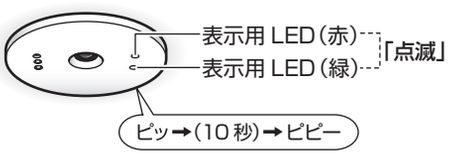
❶「再現」ボタンを押す

❷「数値」ボタンで調光率を 100% にする

❸リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「送信」



「送信」ボタンを押した直後、赤・緑 LED が同期点滅しコントローラが「ピッ」と鳴り、照明器具が指定した調光率で点灯します。その約 10 秒後、「ピピー」と鳴ったら、②の手順へお進みください。

② 100% 点灯時の照度を照度計で測定する

照度計で 100%点灯時の照度を測定してください。（測定した数値をひかえておいてください。）

③照度計で測定した照度を設定する

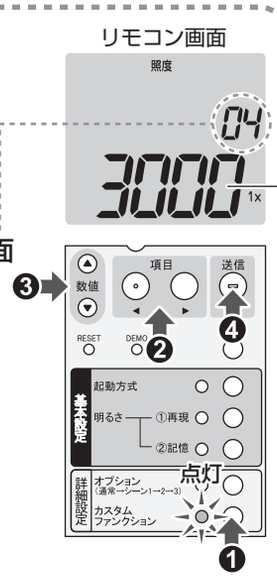
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

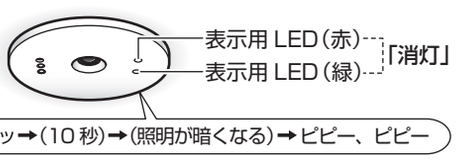
❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「04」を選択

❸「数値」ボタンで 100% 点灯時に測定した照度計の数値を入力

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「送信」



「送信」ボタンを押した直後コントローラが「ピッ」と鳴り、約 10 秒後照明が暗くなり「ピピー、ピピー」と鳴ります。その後、赤・緑 LED が消灯すると明るさ設定が完了します。

④ 基準照度を設定する

リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

↓

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号を選択

↓

❸「数値」ボタンで目標となる照度の数値を入力

↓

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

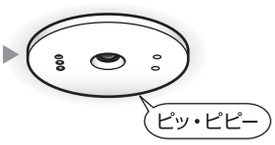
リモコン画面

「**項目**」ボタンで下記数値を変更できます。
設定したいシーンを選択してください。

通常	シーン 1	シーン 2	シーン 3
05	06	07	08

「**数値**」ボタンで「10」～「2500」の範囲でお好みの照度を入力してください。

「送信」



「**送信**」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

Feuアップ設定

■ 壁際の照明器具の調光率を明るくする設定です。

Feu アップ設定とは、個別ひと制御中のひと不在時に壁際の照明器具を明るく点灯させることで Feu を上げることができる設定です。各シーン（通常、シーン 1 ～シーン 3）で設定を変更することができます。工場出荷時、Feu 設定は OFF になっています。

※Feu とは当社独自の空間の明るさ感評価指標で、Feu が上がるほど、空間の明るさ感が向上します。
Feu を上げるには壁面や天井を明るくすることが有効です。
（Feu の詳細は http://www2.panasonic.biz/es/lighting/plam/knowledge/feu.html 参照）

① Feu アップ設定の ON/OFF 設定方法

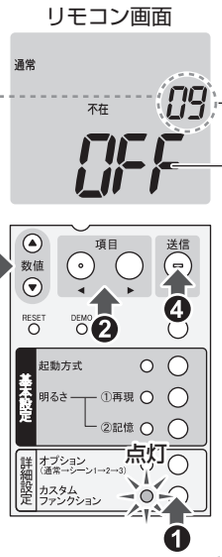
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号を選択

❸「数値」ボタンで ON または OFF を選択

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

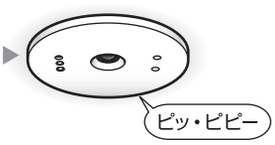


「項目」ボタンで下記数値を変更できます。
設定したいシーンを選択してください。

通常	シーン 1	シーン 2	シーン 3
09	11	13	15

「数値」ボタンで「ON」または「OFF」を選択してください。

「送信」

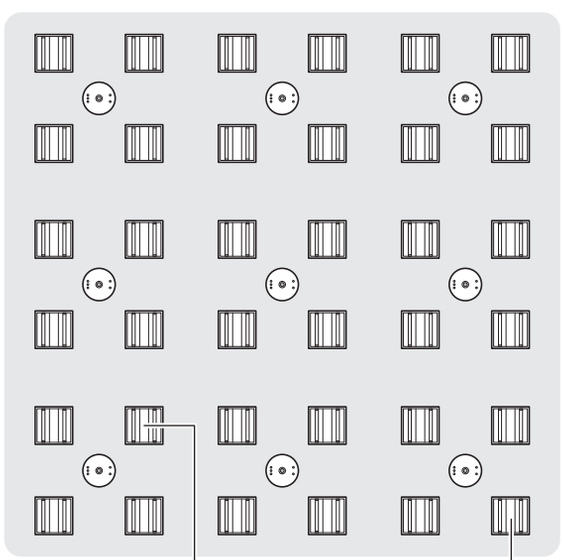


「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

● 設定例

Feu アップ設定 OFF

ひと滞在時の調光率　：100%
ひと移動時の調光率　：15%
ひと不在時の調光率　：15%
壁際照明器具の調光率：50%

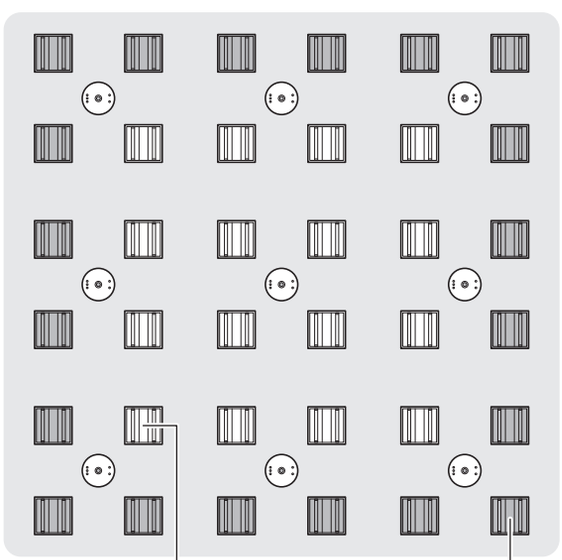


※ひと不在時

照明器具：15%（壁際以外）　壁際照明器具の調光率：15%

Feu アップ設定 ON

ひと滞在時の調光率　：100%
ひと移動時の調光率　：15%
ひと不在時の調光率　：15%
壁際照明器具の調光率：50%



※ひと不在時

照明器具：15%（壁際以外）　壁際照明器具の調光率：50%

Feu アップ設定時の注意事項

・ご使用環境によっては、壁際と認識できなかったり、壁際ではない照明器具を壁際と誤認識する場合があります。Feu アップ設定を OFF にしてご使用ください。

② 壁際照明器具の調光率の設定方法

リモコン操作

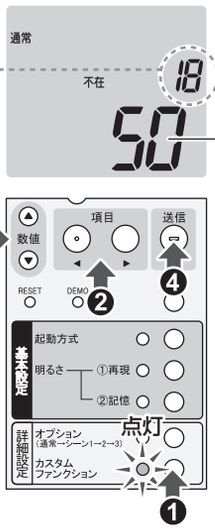
❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号を選択

❸「数値」ボタンで調光率を設定

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

リモコン画面



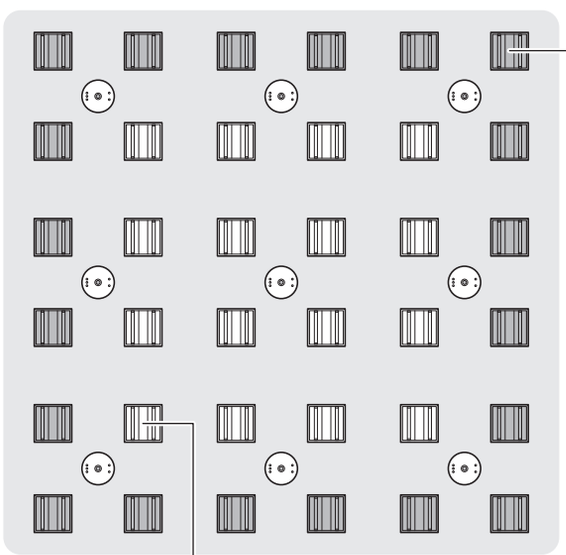
「項目」ボタンで下記数値を変更できます。
設定したいシーンを選択してください。

通常	シーン１	シーン２	シーン３
18	20	22	24

「数値」ボタンで調光率の値を設定してください。

「送信」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。



壁際照明器具：XX%

照明器具：15%
（壁際以外）

昼光連動制御設定

■ 個別ひと制御中に周囲の明るさも検出して周囲が非常に明るい場合、ひと滞在時の調光率を落とす設定です。

昼光連動制御とは、個別ひと制御中に周囲の明るさも検出して、周囲が非常に明るい場合にはひと滞在時の調光率を落とす制御で、省エネ効果を高めることができます。各シーン（通常、シーン 1 ～シーン 3）で設定を変更することができ、工場出荷時、シーン 1 は ON でそれ以外のシーンは OFF の設定になっています。なお、昼光連動制御を使用する場合、昼光連動基準値設定を行ってください。

① 昼光連動基準値設定方法

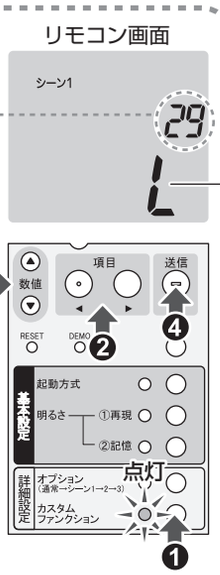
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「29」を選択

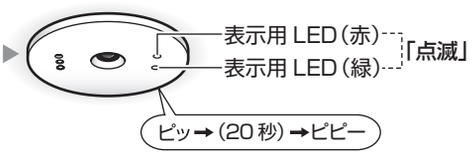
❸「数値」ボタンで「L」→「H」に設定する

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「数値」ボタンで「L」→「H」に設定してください。

「送信」



「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ」と鳴り、赤・緑 LED が同期点滅し照明器具が 100% 点灯します。その約 20 秒後「ピピー」と鳴り設定を終了します。

昼光連動基準値設定時の注意事項

・夜間など、外光の影響のない状態で設定してください。
・使用状態と同一の反射環境とするため、すべての什器を設置後、設定を行ってください。
・昼光連動基準値は全シーンに共通で設定されます。
・昼光連動基準値設定は個別ひと制御中にのみ設定できます。
・机などのレイアウトを変更した場合は、再度設定することをお勧めします。

② 昼光連動制御の ON/OFF 設定方法

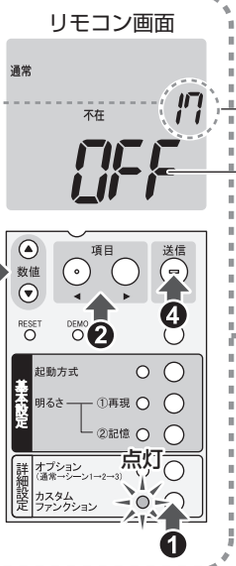
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号を選択

❸「数値」ボタンで ON または OFF を選択

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「項目」ボタンで下記数値を変更できます。
設定したいシーンを選択してください。

通常	シーン 1	シーン 2	シーン 3
17	19	21	23

「数値」ボタンで「ON」または「OFF」を選択してください。

「送信」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

● 設定例

昼光連動制御 設定 OFF

ひと滞在時の調光率：100%
ひと移動時の調光率：15%
ひと不在時の調光率：15%
昼光連動調光率　　：70%

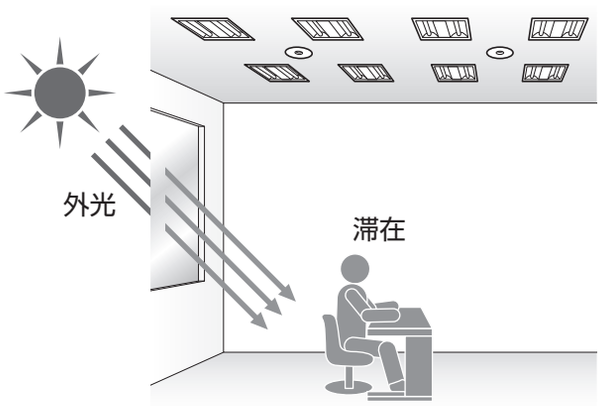
外光で非常に明るくなった場合
滞在調光率 100% で点灯

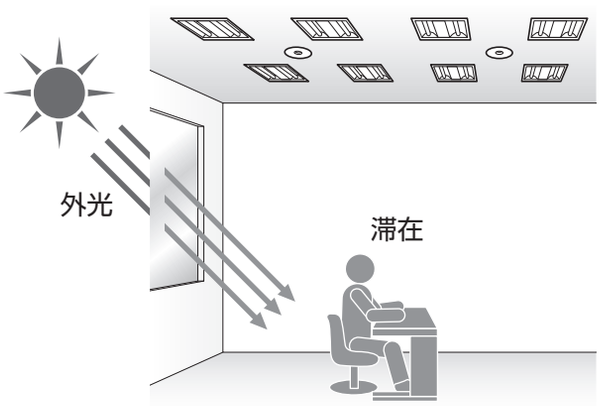
※昼光連動調光率を 70% 未満に設定すると照明器具が明るくなったり、暗くなったりを繰り返す恐れがあるので、設定変更はできません。

昼光連動制御 設定 ON

ひと滞在時の調光率：100%
ひと移動時の調光率：15%
ひと不在時の調光率：15%
昼光連動調光率　　：70%

外光で非常に明るくなった場合
滞在調光率 70% で点灯





昼光連動制御 ON/OFF 設定時の注意事項

・コントローラの設置環境によっては、照明器具が明るくなったり、暗くなったりを繰り返す場合があります。その場合は、設定を OFF にしてください。

ひと検知強制解除

■ 個別ひと制御で動作中、滞在検知しているコントローラを強制的に不在検知にさせることができます。ひとが不在の場所で長時間滞在調光率で点灯している場合にご使用ください。

リモコン操作

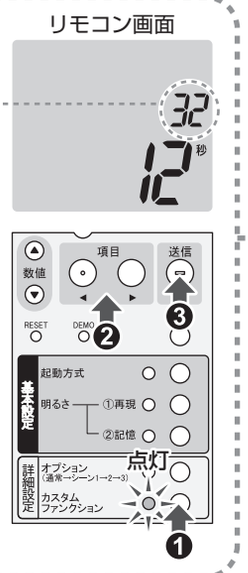
❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

↓

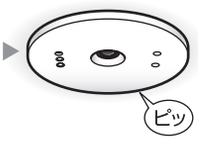
❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「32」を選択

↓

❸リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

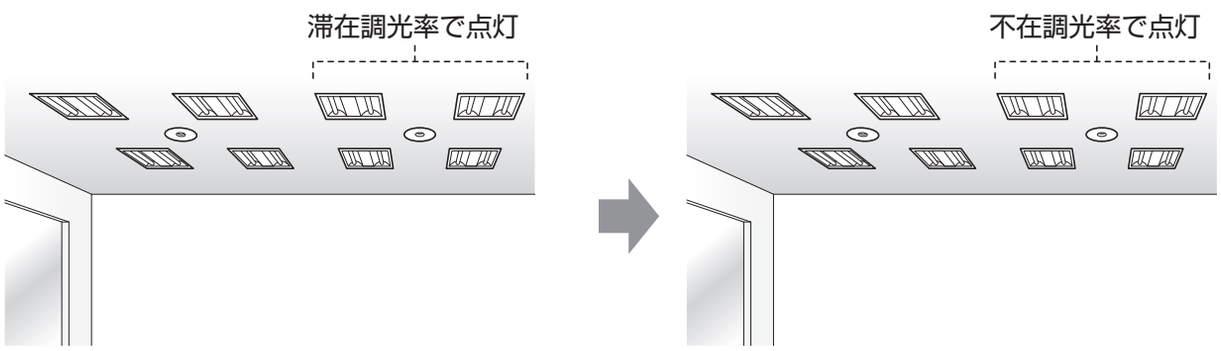


※表示される秒数に意味はありません。
12 秒のまま送信してください。



「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ」と鳴ります。

※リモコン操作したコントローラに隣接しているコントローラがひとの滞在を検知している場合にはひと検知強制解除しても滞在時の調光率で点灯します。
※ひと検知強制解除直後の 10 秒～ 20 秒程度は、ひとの移動または滞在を検知しにくい状態になります。



初期滞在検知設定

■ シーンの切替えで個別ひと制御に運転内容が切替わった直後に、滞在検知状態から運転する (ON) か不在検知状態から運転する (OFF) かが設定できます。工場出荷時は (ON) に設定されています。

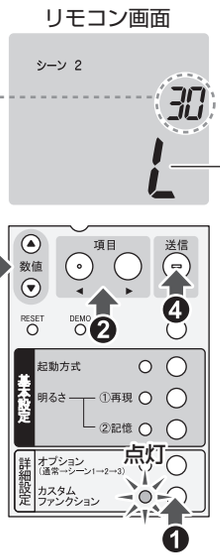
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「30」を選択

❸「数値」ボタンで L または H を選択する。
(L⇒OFF H⇒ON)

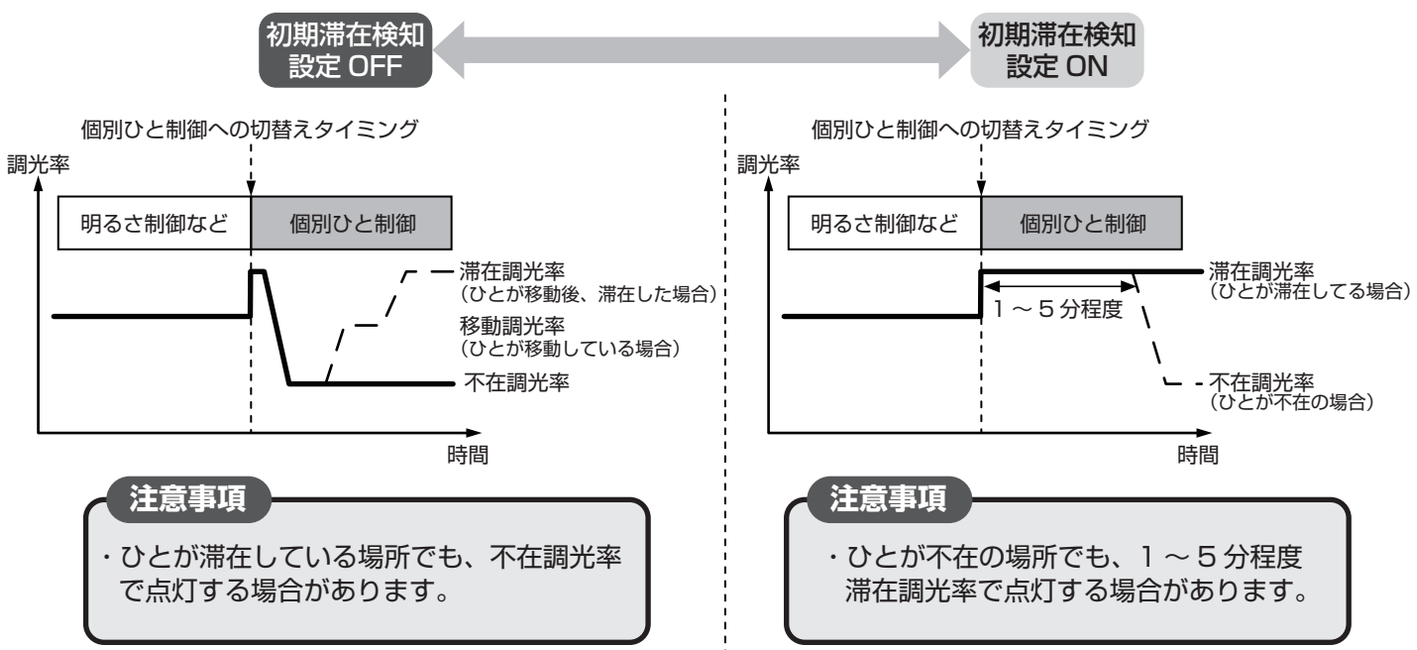
❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「数値」ボタンで「L」(OFF) または「H」(ON) を選択してください。

「送信」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。



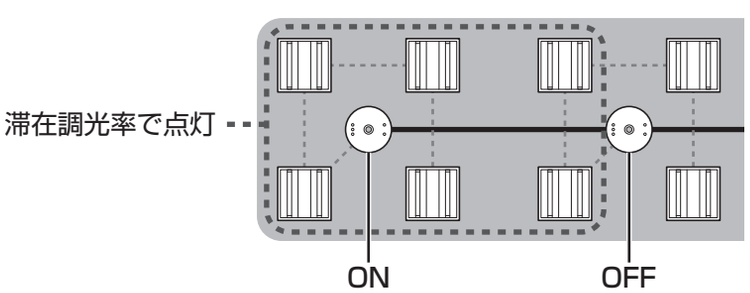
注意事項

・ひとが滞在している場所でも、不在調光率で点灯する場合があります。

注意事項

・ひとが不在の場所でも、1 ～ 5 分程度滞在調光率で点灯する場合があります。

※初期滞在検知設定を OFF に設定した場合でも、隣接しているコントローラが ON の場合は、OFF に設定したコントローラの照明器具も滞在調光率で点灯する照明器具があります。



フェード時間設定

■ 個別ひと制御動作中の滞在、移動、不在を検知した場合に照明器具の明るさを変化させるフェード時間を設定することができます。

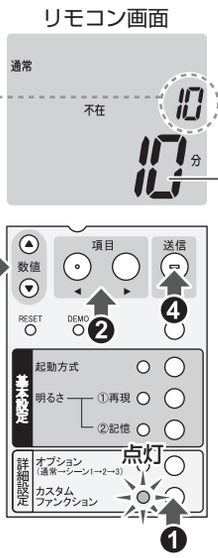
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「10」を選択

❸「数値」ボタンでフェード時間を選択する

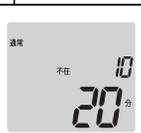
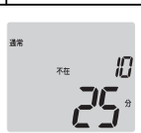
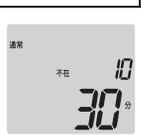
❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「数値」ボタンで選択してください。

「送信」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

表示画面	不在→移動	移動→滞在	滞在→不在	移動→不在	滞在→移動	不在→滞在
	2秒	2秒	3秒	2秒	2秒	3秒
	5秒	5秒	10秒	5秒	5秒	10秒
	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒
  	左の4画面では、設定できません。					

※表示画面と実際に設定されるフェード時間が異なります。
上記対応表をご参照ください。

ひと検知感度設定

■ 個別ひと制御の検知感度を設定することができます。感度の高い低いによって以下の動作となります。

感度：高

ひとの移動・滞在を検知しやすくなります。

※ひと不在時に照明器具が暗くなるまで時間がかかる場合があ ります。

感度：低

ひとが立ち去った後の不在を検知しやすくなります。

※ひとの移動、滞在を検知しにくくなる場合があります。

リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

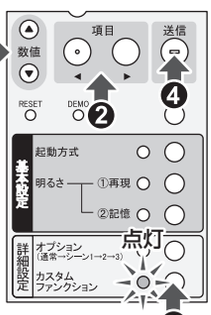
❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「12」を選択

❸「数値」ボタンで感度を選択する

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

リモコン画面

「数値」ボタンで選択してください。



「送信」

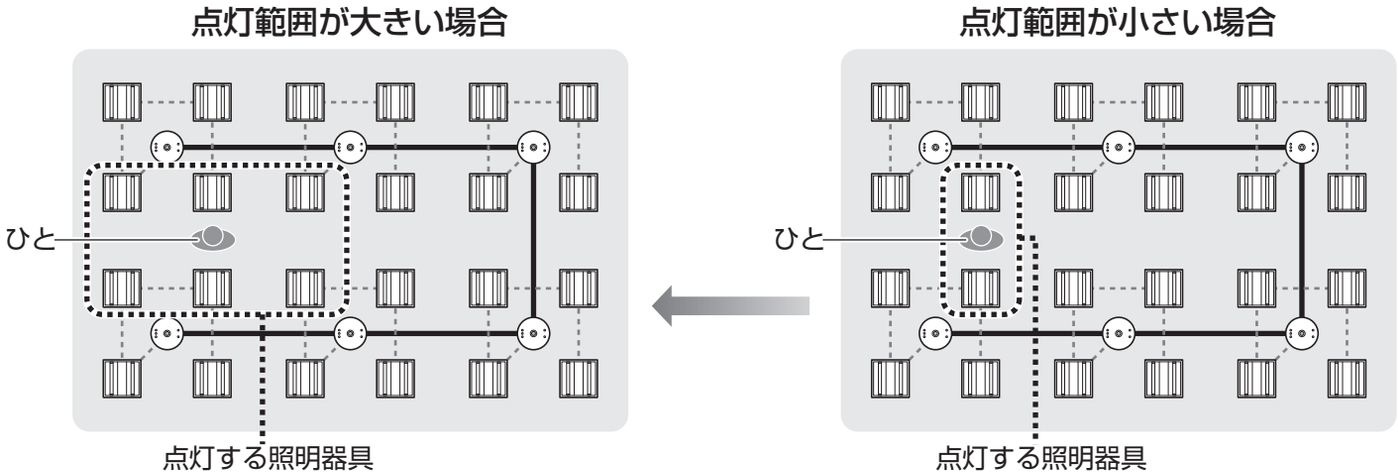
「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

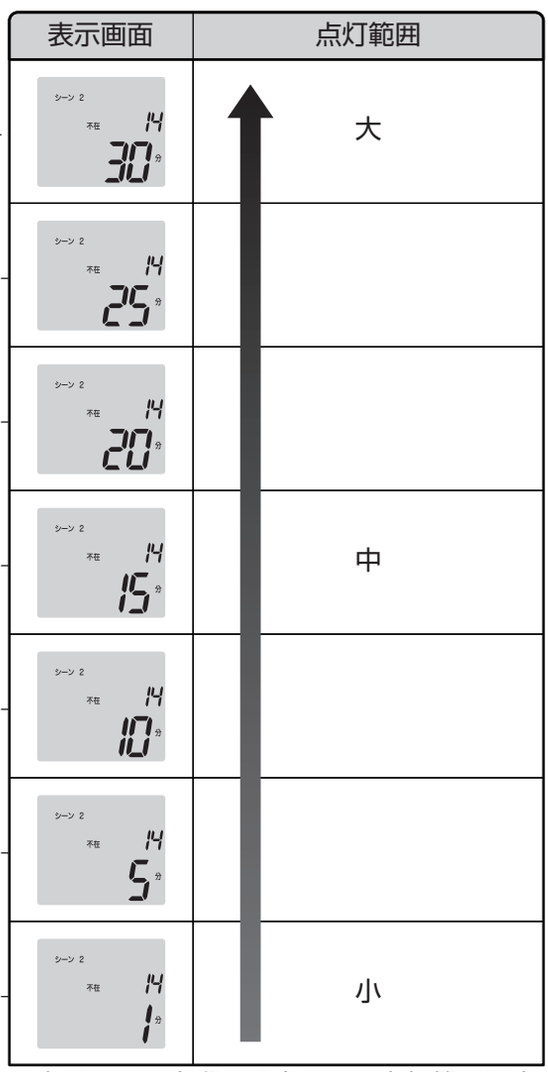
表示画面	感度
	高
	初期値
	低

※表示画面と実際に設定される感度設定が異なります、上記対応表をご参照ください。

点灯範囲設定

■ 点灯範囲設定によって、ひとを検知した場合に調光させる照明器具の台数を変更することができます。





※表示画面と実際に設定される点灯範囲設定が異なります。上記対応表をご参照ください。

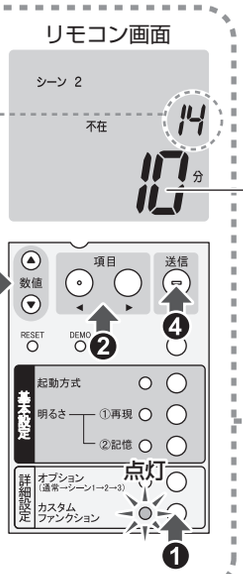
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

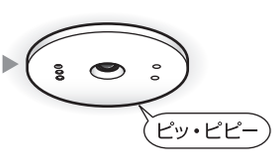
❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「14」を選択

❸「数値」ボタンで下限調光率を選択

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す



「送信」



「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

初期照度補正設定

■ 初期照度補正とは、照明器具の経年劣化による明るさの減退を考慮して、照明器具の寿命まで明るさを一定に保つよう制御する機能です。この機能を行うかどうかを設定できます。
工場出荷時は初期照度補正を行う設定（ON）になっています。

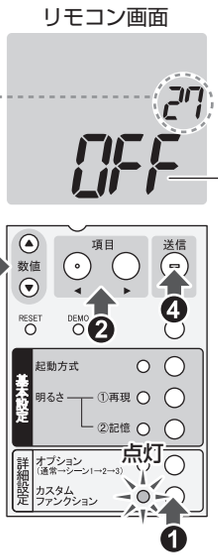
リモコン操作

❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「項目」ボタンでリモコン画面の項目番号「27」を選択

❸「数値」ボタンで ON または OFF を選択

❹リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

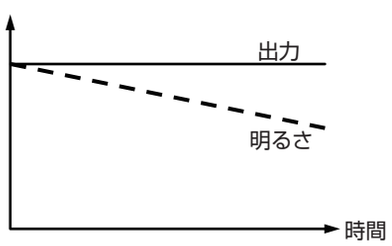


「数値」ボタンで「ON」または「OFF」選択してください。

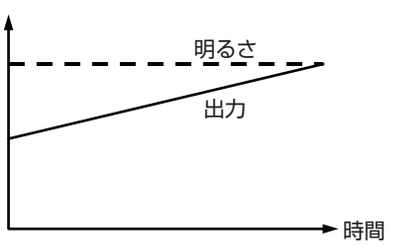
「送信」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ、ピピー」と鳴ります。

初期照度補正設定 OFF ⟷ 初期照度補正設定 ON



照明器具の経年劣化を考慮せずに、出力をする制御



経年劣化により照明器具の明るさが減退した分だけ時間経過と共に出力を上げていき、常に同じ明るさを保つ制御

調光率を指定してマニュアル調光する方法

■ 通常・シーン運転を中断し、指定した調光率で点灯します。

強制調光制御はシーンとして動作するのに対し、マニュアル調光はシーンに関係なく指定した調光率で照明器具を点灯させることができます。また、強制調光制御はグループ単位の制御であるのに対して、マニュアル調光はリモコン操作したコントローラの照明器具のみの制御となります。

一部の照明器具のみ、お好みの調光率で点灯または消灯したい場合にご使用ください。
（シーンで全照明器具が消灯中に一部照明器具を点灯させる場合など）

リモコン操作

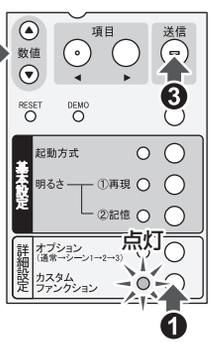
❶「カスタムファンクション」ボタンを押す

❷「数値」ボタンで調光率を選択

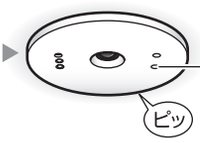
❸リモコンをコントローラに向け「送信」ボタンを押す

リモコン画面

「数値」ボタンで調光率を選択してください。



「送信」



表示用 LED（緑）「点滅」

「送信」ボタンを押した直後、コントローラが「ピッ」と鳴り、緑 LED が点滅します。

こんなときには

故障かな？と思ったら

リモコンのこんなとき

現象	確認項目	処理方法
リモコン操作ができない	コントローラ間連動通信線、デジタル調光信号線が正しく接続されていますか？	信号配線が正しく施工されているか確認してください。
	リモコンの電池が消耗していませんか？	送信ボタンを押して表示が薄くなれば電池を交換してください。(P4 参照)
	リモコンの操作可能範囲で操作を行っていますか？	リモコンの操作可能範囲内で操作してください。(P4 参照)
リモコン設定ができない	リモコンで送信ボタンを押してすぐに他の方向に動かしていませんか？	リモコンはコントローラに約 2 秒間向けておいてください。
明るさ設定ができない	外部接点が入り、シーン 2 またはシーン 3 で運転していませんか？	外部接点を解除してください。
リモコンによるシーン運転、マニュアル調光が勝手に解除される	コントローラの電源が OFF され、電源が再投入されていませんか？ 停電が発生したりしませんでしたか？	コントローラの電源が切れると、リモコンによるシーン運転、マニュアル調光は解除されます。
一括設定できないコントローラがある	コントローラ間連動通信線が正しく接続されていますか？	信号配線が正しく施工されているか確認してください。
	リモコンを受けたコントローラと異なるグループに設定していませんか？	一括設定したいコントローラを同じグループに設定してください。(P12 参照)

「個別ひと制御」による運転のこんなとき

現象	確認項目	処理方法
ひとがいるのに照明器具が明るくならない	ひととコントローラの間に遮へい物がありませんか？	遮へい物を取り除いて使用してください。
	「画像センサ」が汚れ、検知感度が低下していませんか？	「画像センサ」の汚れを拭き取ってください。(P28 参照)
	周囲照度が暗くありませんか？	床面 50lx 未満の照度環境ではひと検知性能が落ちます。床面 50lx 以上の照度環境にして使用してください。
	ひと検知感度が低く設定されていませんか？	ひと検知感度を高く設定することで改善できる場合があります。(P23 参照)
	「個別ひと制御」以外の運転を行っていませんか？	運転を「個別ひと制御」の状態に設定してください。(P9 参照)
ひとがいないのに照明器具が明るく点灯している	コントローラが振動によって揺れていませんか？ 開け閉めするドアが検知範囲に入っていませんか？ 窓の外のエリアが検知範囲に入っていませんか？ 看板やパソコンのスクリーンセーバーなどの点滅する光が検知範囲に入っていませんか？ ブラインド、カーテンまたはその影などの動きが検知範囲に入っていませんか？	現象が度重なり、気になる場合には原因を取り除いてください。 または遮へい物の対策を行ってください。
	小動物が検知範囲に入っていませんか？	20cm 以上の動物は検知する可能性があります。
	少し前までひとを検知していませんでしたか？	ひとが立ち去ってから照明器具が暗くなるまでに時間がかかる場合があります。(最大 5 分)
	ひと検知感度が高く設定されていませんか？	ひと検知感度を低く設定することで改善できる場合があります。(P23 参照)
	「個別ひと制御」以外の運転を行っていませんか？	運転を「個別ひと制御」の状態に設定してください。(P9 参照)
	コントローラがエラー状態ではありませんか？	エラー状態ではコントローラの LED が赤点灯し照明器具がフル点灯します。
	デジタル調光信号線が正しく接続されていますか？	信号配線が正しく施工されているか確認してください。
ひとが歩いているとき照明器具が明るくならない	移動時の設定調光率が、不在時の設定調光率と同じになっていませんか？	工場出荷状態では、ひと不在時の調光率、ひと移動時の調光率が同じに設定されているため、ひとが歩いても照明器具の明るさは変化しません。 ひと移動時の調光率は設定変更することができます。(P9 参照)
周囲が明るいのに昼光連動制御で照明器具が明るく点灯している 周囲が暗いのに昼光連動制御で照明器具が暗くなる	昼光連動の基準値設定時に比べて検知エリア内の反射率が変わっていませんか？	昼光連動の基準値設定を再度行ってください。(P18 参照)

「明るさ制御」による運転のこんなとき	現象	確認項目	処理方法
	照明器具が明るすぎる	設定照度が明るすぎたり、明るさ設定時に比べて検知エリア内の反射率が小さくなっていませんか？	明るさ設定を再度行ってください。（P10 参照）
		「画像センサ」が汚れ、検知感度が低下していませんか？	「画像センサ」の汚れを拭き取ってください。（P28 参照）
	照明器具が暗すぎる	設定照度が暗すぎたり、明るさ設定時に比べて検知エリア内の反射率が大きくなっていませんか？	明るさ設定を再度行ってください。（P10 参照）
		太陽光や他の光源からの光が検知エリア内に入っていませんか？	正常な動作です。
	コントローラごとに照明器具の明るさに差がでる	明るさ設定時に比べて、各コントローラの検知エリア内の反射率が変わっていませんか？	明るさ設定を再度行ってください。（P10 参照）
		太陽光や他の光源からの光の強さが、コントローラの検知エリアごとに違っていませんか？	正常な動作です。 コントローラごとに明るさ制御を行うため、外光の強さが違う場合は照明器具の明るさに差がでます。
	照明器具の明るさが外光量に応じて変化しない	「明るさ制御」以外の運転を行っていませんか？	運転を「明るさ制御」の状態に設定してください。（P10 参照）
		コントローラがエラー状態ではありませんか？	エラー状態ではコントローラの LED が赤点灯し照明器具がフル点灯します。
		デジタル調光信号線が正しく接続されていますか？	信号配線が正しく施工されているか確認してください。

お手入れについて（必ず電源を切ってから行ってください。感電の原因となります）

■コントローラの適切な制御を保つために、画像センサ (P4 参照) 面の汚れは定期的にやわらかい布などで拭き取ってください。また、リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を抜き、直射日光のあたらない場所で保管してください。

コントローラ、照明器具の交換について

■コントローラや照明器具を交換・増設する場合は、P11 を参考に全てのコントローラを工場出荷状態に設定し、初期設定（結線確認・天井高さ設定・自動初期設定）を最初から行ってください。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365(フリーダイヤル)　0120-878-236(FAX)
© Panasonic Corporation 2013
MN1013-00